



・発行者・
京都障害者
スポーツ
振興会

題字 芝田 徳造

車いすハンドボール大会に

参加して

車いすハンドボールチーム
として大会に参加して

笑福亭一門チーム

井上有一郎

車いすハンドボールと卓球
バレーボールを中心に活動し
ている私達は最初はチーム名
を「できたて出荷・林家一門」
と「笑福亭一門」と名のつては
じめたが、現在は車いすハンド
ボールチームを「笑福亭一門」
とした。

チームは主に様々な障害を
もっている人が中心であるが
健全者もあり、チームの活動目
標は健康維持と交流の場の提
供である。私達のチームは第5
回に初めて出場して以来、今回
の第29回大会まで連続して出
場して上位入賞してきた。メン

バー数は年により変動してき
たが、車いすハンドボールチ
ームは10名前後であり、ほぼ毎週
土曜日に京都市障害者スポ
ーツセンターをホームグラウンド
とし練習している。

車いすハンドボール大会を
ふりかえると、第13回大会まで
は京都在住のチームが主に出
場していたが、第14回大会から
は大会名称が「全京都車いすハ
ンドボール大会兼全国交流会」
と変更になり、出場チームも全
国に広がりつつある。また第22
回大会までは2部制であった
が、第23回大会からは1部とオ
ープンチームになった。第24回
大会から1部を正規とよんで
いる。

全国に広がりつつある現在、
特に比較的重度の障害を持つ

人達は、総合支援学校卒業後に
一人で外出することがむずか
しく家あるいは施設に閉じこ
もりがちになることが多いが、
家族や介護福祉士の協力によ
って練習会に参加したり大会
に出場している。

これからもチーム数が増え
多く参加して障害の有無に
関係なく大会が盛り上がり、楽
しくしかも交流が盛んになる
ことを心から願っている。



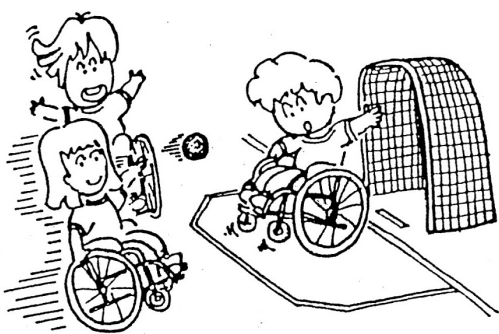
Childish (チルデイッシュ)
山本英嗣

11月25日日曜日に開催され
た、全京都車いすハンドボール
大会兼全国交流大会に参加さ
せていただきました。

個人的には以前にも京都北部
のドリーマーズというチーム
に入れてもらって参加してい
ましたが、今回は自分が所属す
る車椅子バスケットボールチ
ームのメンバーで参加しまし
た。

私のこの競技が好きなどころ
は、最近では少なくなってきた
重度障害の方から健全者まで、
年齢、性別関係なく幅広い人が
参加できるスポーツで、障害者
スポーツの初心者でも気軽に参
加でき、次のステップへの入門
編としてもすごく良い競技だ
と感じています。

ただ、ここ最近この大会に参
加する障害者の数が減ってきて
いると聞いて残念でなりません。
それもあって今回急遽車椅子
バスケットチームでの参加となつた
わけですが、参加したメンバー
皆も楽しかったようで、また来
年も他の大会と重ならなければ
是非参加したいと思えます。あ
りがとうございました。



行事予定	2月	11(月・祝)	雪あそびのつどい 京都府障害者スポーツ指導者研修会3-②	花背山の家 京都学園大学(京都亀岡キャンパス)	来月の つどいは 3 / 10 第2 日曜日
		12(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	
		16(土)	京都市ゆうあいボウリング大会	MK ボウル上賀茂	
			京都府障害者スポーツ指導者研修会3-③	京都学園大学(京都亀岡キャンパス)	
		17(日)	京都マラソン2019	京都市内コース	
			障害者水泳のつどい	伏見港公園	
	3月	24(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
		3(日)	乙訓障害者スポーツのつどい	向日市民体育館	
		9(土)	天皇盃第30回全国車いす駅伝競走大会 開会式等	グランドプリンスホテル京都	
		10(日)	天皇盃第30回全国車いす駅伝競走大会 競技・閉会式	京都市内駅伝コース	
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX 075-712-7010 http://www.spo-shin.net/					

障害者スポーツ指導者
研修会を受講して

並河 賢

私は京都府障害者スポーツ指導者研修を受講し、多く学ぶことができて良かったと思います。受講をするまでは身体障害、知的障害、精神障害についての初めて知ることが多く、とても勉強になりました。研修で受けている内容は基礎の部分だと思えますが、知っておくだけでも違うと感じました。障害のある人とコミュニケーションをしっかりと取り取ること必要になります。相手の障害や性格などを知り、臨機応変に対応することが大切だと思いました。

障害のあるひととコミュニケーションを取り、介助が必要ならば聞く。しっかりとコミュニケーションを取らないと障害のある人が不快な思いをするので気をつける必要があります。

もつと障害について、勉強して知識を深めていきたいと思えます。役立てていきたいと思えます。

障害のある人は体を動かすことがどうしても少なくなってしまう。障害者スポーツセンターのように利用できる場所が

まだまだ少ないと思うのでスポーツが気軽にできる場所を増やせるようにしたいです

障害者スポーツの人口や認知度は低い。この研修で初めて知るスポーツもありました。研修で障害者スポーツを体験してみると楽しくできるものが多くあると感じました。もつと障害者スポーツを広めて多く人の知ってもらいたいと思いました。

月に1度ある障害者スポーツつどいはスポーツができる貴重な場所だと思いました。障害者スポーツでしかできない卓球バレー、スポーツ吹き矢、スラロームなどがあり、楽しむことができる場所だと感じました。

私は第18回全国障害者スポーツ大会に出場しました。その時に京都府の職員、監督、コーチの方々に支えていただき、大きな舞台で良いパフォーマンスをすることができました。

京都障害者スポーツ振興会の方に京都府障害者スポーツ指導者研修があることを教えてもらいました。私は京都府障害者スポーツ指導者になり、全国障害者スポーツ大会に出場する選手たちの力になりたいと思いました。



西口阿里

近年東京オリンピック・パラリンピックにむけて、パラスポーツの認知度・知名度が少しずつ高まってきているように思います。私も数年前から知り始めた一人です。

テレビ等をきっかけとして障害者スポーツを知るようになり、大学へ入学後、健常者と障害者が分け隔てなく競い合えるスポーツを作ろうと、学生や社会人の方々と試行錯誤しながらスポーツを考え、小規模ながらも大会を開催していました。しかしすべて

独学だったので、参加者へどういった配慮が必要なのか、みんなが必要としていることはなんなのか、怪我を予防するために何に気を付ければいいのかといった不安が常にありました。その時に障害者スポーツ指導者研修会というものがあると知り、参加することで自分が抱いていた不安が少しでもなくなるかもしれないと思い参加しました。

参加してみて、障害者スポーツのことだけでなく、障がい者を取り巻く環境や障がい者に関する法整備など、まず障がい者に関する現状を知るところから始まり、世界での障害者に関する

社会の流れや、日本での障害者に

関する社会の流れなど、広く学びました。ただ、私が何より楽しかったのは実践です。私は車いすバスケと、「つどい」に参加しました。車いすバスケでは先生は難なく車いすを操りやすい進みませんが、実際にやってみるとかなり上半身の筋肉を使う動きが多く、すぐにバテてしまいました。しかしそれでも疲れたからやりたくないとは全く思わず、むしろもっとやりたい、次はもっとうまくパスをだせるようになりたい、と思いました。それは自分が心から楽しめていたからだと思います。

障害者スポーツは障害者がやるものだから、健常者の私がやるのも簡単に来てしまうんじゃないかと、心のどこかでほんの少し思っていました。実際は真逆で、普段自分が行っているスポーツとはまた違った難しさがあり、とても楽しかったです。障害者スポーツ指導員の資格を得たからには、障害者スポーツを行える場所に参加者に指導するのはもちろんですが、それ以上に多くの人に障害者スポーツの楽しさを伝えられるよう頑張りたいと思います。

天皇陛下御在位三十年記念
天皇盃第30回全国車いす駅伝
競走大会 出場チーム

- 埼玉
- 東京
- 長野
- 福井
- 静岡
- 愛知
- 京都
- 大阪
- 兵庫
- 岡山
- 高知
- 福岡
- 佐賀
- 熊本
- 大分
- 鹿児島
- 仙台
- 京都
- 福岡
- 大分
- 岡山
- 熊本
- 中国ブロック
- 九州ブロック
- 北信越ブロック
- *車いすマラソン愛好会
(オープン参加)